

2024 年度事業報告

自:2024 年 7 月 1 日

至:2025 年 6 月 30 日

1. 事業の概況

一般社団法人ジャパンバレーボールリーグは、これまでの V2 および V3 カテゴリーに所属していたクラブを再編成し、新たに「V.LEAGUE」としての初年度シーズンのリーグ運営を開始いたしました。

本年度より、ゲームの開催形式を、ホーム&アウェー方式とし、従来の運営手法から大きく転換を図りました。これは、上位リーグである SV.LEAGUE と同様の運営形態を目指すものであり、新たなリーグ体制の確立に向けて、1 年間にわたり各種運営活動を実施いたしました。

以下、2024 年度事業年度の概況を取りまとめご報告いたします。

2024 年 7 月 1 日に開催された臨時社員総会において、理事 7 名および監事 1 名の選任を行いました。これを受けて、同日に開催された臨時理事会において、大河正明氏を代表理事 CEO、國分裕之氏を代表理事 COO とし、新たに選任し、新経営体制のもとでの運営を開始いたしました。

本年度より、SV.LEAGUE と V.LEAGUE が組織的に分離されたため、V.LEAGUE 単独での開幕に向けた準備を進め、女子 11 クラブ、男子 18 クラブによるレギュラーシーズンを予定通り開幕することができました。

シーズン当初には、衆議院の解散に伴う国政選挙の影響を受け、一部試合会場の変更や日程調整といった、イレギュラーな対応を迫られる場面もありましたが、関係各所のご理解とご協力のもと、全試合を安全かつ円滑に実施することができました。

さらに、2025 年 3 月末から 4 月にかけて開催されたプレーオフセミファイナルおよびファイナルでは、船橋アリーナに多数の観客を迎えることができ、シーズンの締めくりにふさわしい白熱した好ゲームが展開されました。多くの関係者の尽力により、成功裏に 2024 年度シーズンを終えることができました。

事業の運営面では、SV.LEAGUE との組織分離により、V.LEAGUE 単独での事業運営を開始した初年度となりました。この新体制下において、メインスポンサーの獲得が難航したほか、Vリーグ時代に受給していたスポーツくじ助成金の受給資格を喪失したことにより、収入面では大きな減少を余儀なくされ、日常運営経費の圧縮ならびに各クラブに対する遠征旅費負担率の削減等による、収支均衡予算としました。

シーズン終盤まで苦戦していたスポンサー契約も成案を見せ、プレーオフ開催関係者の協力によるコスト低減の努力もあり、当初予算からは減収となるものの、最終の経常収支では 385 万円の黒字決算となりました。

来期以降も V.LEAGUE を安定的かつ持続的に運営していくためには、継続的な費用削減の努力に加え、収益基盤の強化が不可欠な状況にあります。特に、本年度はスタート年度であったことから、入会金収入が一時的に計上されたものの、来期以降はこの収入が見込めないため、新たな収益源の確保が急務となっております。

スポンサーセールスの強化により収益増を図るとともに、今年度は、プレーオフでの集客に課題が残る結果ともな

っており、更なる集客に向けた広報宣伝活動の強化を行い、入場料収入の増についても積極的に対応していくことといたします。

以下、事業内容を、詳述いたします。

2. 事業内容

(1)V.LEAGUE WOMEN

V.LEAGUE WOMEN は 11 クラブの参加でカンファレンス編成を行わず、ホーム&アウェー方式により各クラブが 28 試合を戦うレギュラーシーズン 154 試合と、レギュラーシーズン上位 4 クラブによるプレーオフ(セミファイナル 2 試合、ファイナル1試合)を実施しました。

レギュラーシーズンは、2024 年 10 月 19 日に開幕し、2025 年 3 月 23 日の最終戦まで白熱した試合が繰り広げられ、第 1 位ブレス浜松、第 2 位リガーレ仙台、第 3 位信州ブリリアントアリーズとなり、第 4 位のフォレストリーヴズ熊本までが、プレーオフへ進出しました。

それぞれセミファイナルを勝ち上がったブレス浜松と信州ブリリアントアリーズのファイナルでは、フルセットの戦いとなる熱戦を制した信州ブリリアントアリーズが V.LEAGUE WOMEN 初代年間女王となりました。

(2)V.LEAGUE MEN

V.LEAGUE MEN は 18 クラブによる参加となった為、2地区(東地区・西地区)カンファレンスを組織し、東地区 8 クラブ、西地区 10 クラブの編成によるレギュラーシーズンとなりました。試合方式は WOMEN 同様、ホーム&アウェー方式で、各クラブが 28 試合を戦うレギュラーシーズン 252 試合と、各カンファレンス上位 2 クラブが進出するプレーオフ(セミファイナル 2 試合、ファイナル1試合)を開催しました。

レギュラーシーズンの結果、東地区は第 1 位北海道イエロースターズ、第 2 位埼玉アザレア。西地区は、第 1 位ヴィアティン三重、第 2 位フラーゴラッド鹿児島という結果となり、プレーオフに進出しました。

セミファイナルでは、フラーゴラッド鹿児島が東地区第 1 位の北海道イエロースターズに勝利し、ファイナルはヴィアティン三重との西地区所属クラブ同士による対戦となりました。

ファイナルでは、フルセットまで一進一退の攻防を制したフラーゴラッド鹿児島が V.LEAGUE MEN 初代年間王者となりました。

観戦入場者数をみると、レギュラーシーズンは WOMEN・MEN 合計で 406 試合を開催し、入場者数は 193,783 人(女子 78,415 人、男子 115,368 人)。プレーオフは WOMEN・MEN 合計で 6 試合を開催し、入場者数は 4,783 人(女子 2,303 人、男子 2,480 人)となり、シーズン全体での入場者数は 198,566 人となりました。2023-24 シーズンとはリーグ方式も異なることから単純比較はできませんが、V2 および V3 の観戦入場者数(男女総計)が 138,205 人であった事からも、バレーボール人気の高まりとホームクラブのマーケティング努力の結果が、観戦入場者数の増加につながった結果となりました。

(3)2024 SV-V.LEAGUE U15 選手権大会

これまで、Vリーグジュニア選手権大会として開催してきた大会を、世界最高峰を目指す SV.LEAGUE と地域密着の V.LEAGUE への再編により「SV-V.LEAGUE U15 選手権大会」と名称を変更し、初の U15 選手権として開催

されました。

当初は8月に予選大会、10月に本戦を予定していましたが、台風10号の接近により、関係者の安全などを考慮して延期。2024年10月5日(土)・6日(日)の2日間で全日程を行いました。

相模原ギオンアリーナで行われた女子大会には24チームが参加し、アイシンティルマーレ碧南のジュニアチームであるティルマーレジュニア オーシャンウインズが昨年に続き、優勝、連覇となりました。また埼玉上尾メディックス Jr.はオリンピックの松田明彦氏、NECレッドロケッツ川崎 U15 は元日本代表の竹内実氏が監督を務めるなど、世代間の連携も見られ、競技のさらなる普及への可能性を感じる大会となりました。

近畿大学記念会館で行われた男子大会には22チームが参加し、ウルフドッグス名古屋 U-14 が優勝。前身の大会と合わせると5大会連続の優勝を果たしました。

女子大会は出場選手数503人、累計観戦者数780人、男子大会は出場選手数525人、累計観戦者数870人となりました。

若い選手たちの健やかな育成を目指し、両日には保護者を対象に、計4回の食育講座も開催しました。「試合前後の補食の摂り方の参考になりました」「普段の生活でためになる食事のコツなど、大変分かりやすい資料でした」という声がある一方、試合時間と講座が重ならないスケジュールの工夫や、事前PR強化でさらに多くの方々の参加を募るなど、次回以降もさらなる改善を行っていきます。

(4) 広報／プロモーション活動

2024-25 V.LEAGUE スケジュール発表会

2024-25 V.LEAGUE の開幕を控えた、2024年10月10日より2024-25 V.LEAGUE スケジュール発表会を、V.LEAGUE 公式 YouTube にて事後配信し、7,000回を超える視聴実績となりました。

各クラブのキャプテンを中心とした主要選手が一堂に会し、2024-25 シーズン開幕を前に、カンファレンス構成や開幕カードの発表を実施するとともに、熱い意気込みや、ホームタウンの魅力発信が行われ、ファン・関係者双方に向けた情報発信の場として好評を博しました。

(5) 研修会・委員会活動

① 2024-25V.LEAGUE キックオフミーティング・運営担当者クリニック

キックオフミーティングおよび運営担当者クリニックを開催して、V.LEAGUE 大会の運営に関する説明を行いました。今年度はWEB方式での開催となりました。

開催日時: 2024年9月14日 13:00~17:00

開催方式: WEB 会議方式

出席対象者: V.LEAGUE クラブ担当者、都道府県バレーボール協会、全国ブロック理事長など

② JURY 会議

JURY が一堂に会し、2024-25V.LEAGUE の運用の確認をSV.LEAGUE との共催で実施しました。

開催日時: 2024年8月12日 14:30~17:00

開催方式: 近畿大学(大阪府東大阪市)での実開催

出席対象者: JURY

③ レフェリークリニック

2024-25 V.LEAGUE の運用の重要事項を確認するレフェリークリニックを開催しました。

開催日： 2024年9月7日 14:00～18:00

開催方式： WEB 会議方式

出席対象者： JURY、レフェリー、都道府県バレーボール協会審判委員長

④ 各種委員会活動

ジャパンバレーボールリーグの委員会は、理事会・実行委員会等の主要会議により発議発案された課題や問題など、主にジャパンバレーボールリーグ運営上の重要問題に関して代表理事が諮問するテーマについて、弁護士、公認会計士、企業経営者等外部有識者が委員となり、代表理事に答申する役割を担っています。

主要な委員会として「規律委員会」、「裁定委員会」などがあり、活動を行いました。

(6) 協賛金

V.LEAGUE としての活動初年度となり、複数の企業に対して、スポンサー営業を継続実施するものの、シーズン終盤に新規の協賛契約を株式会社NTTデータ関西様と締結することができ、厚く御礼申し上げます。

しかしながら、協賛金額としては、リーグとしての経営の柱となる規模には不足しており、将来的な組織運営にあたり、財務体制の安定に向けては、更なる増収が必要です。引き続き新規協賛先の開拓に向けた営業の強化を図ってまいります。

社員の皆様におかれましても、ジャパンバレーボールリーグ、日本バレーボール界の発展のため、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

3. 社員一覧

2025年6月30日現在

	種別	名称	入会年月日
1	社員	一般社団法人アルテミス北海道	2024年7月1日
2	社員	リガーレ仙台株式会社	2024年7月1日
3	社員	T G Cゼネラルサービス株式会社	2024年7月1日
4	社員	ルートインジャパン株式会社	2024年7月1日
5	社員	ぎふ農業協同組合	2024年7月1日
6	社員	一般社団法人ブレス浜松	2024年7月1日
7	社員	株式会社アブレイズ	2024年7月1日
8	社員	株式会社大野石油店	2024年7月1日
9	社員	株式会社カノア	2024年7月1日
10	社員	フォレストリーヴズ熊本株式会社	2024年7月1日
11	社員	株式会社北海道イエロースターズ	2024年7月1日
12	社員	一般社団法人つくばユナイテッドサンガイア	2024年7月1日
13	社員	株式会社Reve's	2024年7月1日
14	社員	NPO法人アザレア・バレーボール振興会	2024年7月1日
15	社員	株式会社ドットライン・ゼルバ	2024年7月1日
16	社員	一般社団法人スポーツユニット	2024年7月1日
17	社員	富士通株式会社	2024年7月1日
18	社員	株式会社 信州スポーツプロモーション	2024年7月1日
19	社員	アイシン辰栄株式会社	2024年7月1日
20	社員	大同特殊鋼株式会社	2024年7月1日
21	社員	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ	2024年7月1日
22	社員	一般社団法人近畿クラブスフィード	2024年7月1日
23	社員	株式会社クボタ	2024年7月1日
24	社員	株式会社きんでん	2024年7月1日
25	社員	株式会社デルフィーノスポーツ	2024年7月1日
26	社員	株式会社奈良ドリーマーズ	2024年7月1日
27	社員	一般社団法人福岡ウイニングスピリッツ	2024年7月1日
28	社員	株式会社フィールドエックス	2024年7月1日

4. 役員一覧

2025年6月30日現在

代表理事 CEO	おおかわ まさあき 大河 正明	一般社団法人 SVリーグ 代表理事チェアマン
代表理事 COO	くにぶ ひろゆき 國分 裕之	公益財団法人日本バレーボール協会 専務理事
理 事	しいば まこと 椎葉 誠	株式会社ヴィアティン三重ファミリークラブ 常務取締役
理 事	せき ゆみえ 関 由美江	ルートインジャパン株式会社 取締役
理 事	たかまつ まさひろ 高松 政裕	弁護士 京橋法律事務所
理 事	ないとう たくや 内藤 拓也	公益財団法人日本バレーボール協会 業務執行理事
理 事	よしかわ きだのぶ 吉川 禎延	株式会社クボタ スポーツリレーション部長
監 事	さいとう きみひこ 齊藤 公彦	公認会計士 南富士有限責任監査法人